

ちがさきし ねん めざ
茅ヶ崎市は「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています

さとやま たい
里山はっけん隊！ 「まとめ ノート」



れいわ ねん がつ とうび じっし
令和5年9月9日(土)実施

だい かい さとやま たい
第4回 里山はっけん隊！ ふりかえり

さんか たいいん みなさま じゅんぶどう けいしやうりやく
参加いただいた隊員の皆様（順不同・敬称略）:

きいしゅんパパ、きいしゅんママ、きいち、いいじましゅんた、
みずぱぱ、みずママ、いけじまみずき、あきちゃん、ひろ、クリーパー、
しょうちゃんママ、しょうた、てついち、えいいち、なお、ひびき、
とも、やえ、ママ虫、蟲太郎

目次 – CONTENTS –

まとめ
その1

生きものトーク…………… 1

はっけん隊！当日にみんなが投稿した写真を見ながら、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんと、市役所環境政策課のカヤとみかんが、みなさんの「はっけん！」をトーク形式でふりかえります。

まとめ
その2

生きものコレクション…………… 11

隊員のみんなの投稿を一覧にまとめました。生きもの名前は、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんに確認していただき、一部、変更させていただきました。人物が映り込んでいる投稿等は、削除しています。種名が判別できなかったものは、「種名？」と表示しています。

まとめ
その3

生きものマップ…………… 19

畑の村湿地とその周辺で見つけた主な生きものを、地図にまとめました。田んぼや草地、湿地など、エリアごとにどんな生きものがいたか見てみましょう。

生きものトーク、生きものコレクション、生きものマップの作成に
御協力いただいた 柳谷の自然に学ぶ会の皆様(敬称略)

野田晴美(のださん)、白田仁志(のっぽさん)、飯尾桃子(いいお)
小浜ミサ子(はまさん)、倉川典夫(クーラー)、池田尚子

まとめ
その1

生きものトーク

学…柳谷の自然に学ぶ会
カ…カヤ（環境政策課）
み…みかん（環境政策課）



植物

カ 今回の注目は、なんとい
ってもこれですね。



イネ
Oryza sativa
種子植物 > イネ目 > イネ科

学 はい、イネですね！ 日
本人の主食です。これから稲
刈りをして、干して、脱穀し
てお米になります。



イネ
Oryza sativa
種子植物 > イネ目 > イネ科

学 斜面林に挟まれた谷戸環
境がよく分かる写真ですね。
日本人は湿地環境を活用して
水田耕作を行ってきました。
水田があることで水辺環境で
生きている動植物がたくさん
見られます。トンボやカエル
はヤゴやオタマジャクシとし

て、水の中で生きています。
田んぼの中に入ることはなか
なかできませんが、湿地性の
動植物は、畑の村の湿地でも
見られるので観察してくださ
いね。



イネ
Oryza sativa
種子植物 > イネ目 > イネ科

学 ところでイネの花は春に
咲きますが、炊き立てのご飯
の香りがするんですよ。

み ええっ！本当ですか。そ
れはぜひ嗅いでみないと。



イヌビエ
Echinochloa crus-galli var. *crus-galli*
種子植物 > イネ目 > イネ科

学 イヌビエです。図鑑によ
ると、人間の役に立たないも
のに動物の名前をつけること
が多いとか。でも、大昔の縄

文人は食べていたようですよ。



エノコログサ
Setaria viridis
種子植物 > イネ目 > イネ科

み これは知っていますよ。
猫じゃらし。

学 エノコログサだと思いま
す。アキノエノコログサ、キ
ンエノコロ、ムラサキエノコ
ログサなど、猫じゃらしにも、
いろいろ種類があるんですよ。



オオニシキソウ
Euphorbia nutans
種子植物 > キントランノ目 > トウダイグサ科

学 北アメリカ原産のオオニ
シキソウです。同じく北アメ
リカ原産のコニシキソウとと
もに在来のニシキソウを圧倒
しています。

カ 小さい花に実のようなも
のが見えますね。かわいい。



オモダカ
Sagittaria trifolia
種子植物 > オモダカ目 > オモダカ科

学 オモダカは漢字で書くと「面高」。水面から高く顔を出しているという意味でしょうか。3枚の花弁に緑色のガクが3枚あります。花は午前中開いて夕方にはしぼんでしまいます。茅ヶ崎市内では水辺の指標種となっています。

み 指標種って何ですか？

学 茅ヶ崎らしい自然に生息・生育する代表的な種のことです。樹林、草地、水辺、海辺、主要河川、細流の環境ごとに選定されています。

み この田んぼは茅ヶ崎らしい自然ということなんですね。



コナギ
Monochoria vaginalis
種子植物 > ツユクサ目 > ミズアオイ科

学 コナギは水田の植物です。紫色の花が咲きます。オモダカやコナギのある田んぼは少ないですね。

み 貴重な環境なんですね。



カントウヨメナ
Aster yomena var. dentatus
種子植物 > キク目 > キク科

学 カントウヨメナは、田んぼの畦や川べりなどによく見られます。似たものにノコンギクがありますが、花の付き方や葉っぱの様子が違います。



キツネノマゴ
Justicia procumbens var. procumbens
種子植物 > シソ目 > キツネノマゴ科

み 夏に見つけたキツネノマゴに花が咲いています！

学 花のあとがキツネのしっぽみたいで、それがまた小さいところが孫なのでしょう。



タカサブロウ
Eclipta thermalis
種子植物 > キク目 > キク科

み …って誰？

学 人の名前みたいですが語源は不明。湿ったところに生えている植物です。近年、アメリカタカサブロウという同じような植物が入ってきていて、見分けに悩みます。

み アメリカ出身のタカサブロウ…？



ツククサ
Commelina communis
種子植物 > ツククサ目 > ツククサ科

学 ツククサです。花弁3枚のうち2枚は大きく、白くて小さい花弁が1枚あります。1本のめしべと2本のおしべ、3本の仮おしべがきれいで、昆虫をひきつけています。こんなに小さくても工夫していることに感心しますね。



ツルボ
Barnardia japonica
種子植物 > キジカクシ目 > キジカクシ科

学 ツルボです。つるのような花穂が由来です。日当たりのよいところに生えています。



ナンバンカラムシ
Boehmeria nivea var. *nivea*
種子植物 > バラ目 > イラクサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

学 ナンバンカラムシでしょうか。カラムシの仲間を見分けるのは大変難しいです。花の写真があると手がかりになります。



ホソバヒメミソハギ
Ammannia coccinea
種子植物 > フトモモ目 > ミソハギ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

学 南北アメリカ原産のホソバヒメミソハギは水辺で見られる植物です。ヒメミソハギという在来の植物もあって、ややこしいですね。



タマガヤツリ
Cyperus difformis
種子植物 > イネ目 > カヤツリグサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

学 カヤツリグサ科のタマガヤツリです。湿ったところに生えます。

み 丸っこい房のようなものが見えますね。

学 おもしろい形ですね。



コスモス
Cosmos bipinnatus
種子植物 > キク目 > キク科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

み コスモスが咲き始めていました。

学 秋桜と書くようですがメキシコから来た植物です。きれいなかわいい花ですね。



チョウジタデ
Ludwigia epilobioides subsp. *epilobioides*
種子植物 > フトモモ目 > アカバナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

み 湿地でみんなで観察したチョウジタデですね。

学 別名タゴボウ。全体がタデ、花がチョウジ、根がゴボウに似ていることが由来のようです。花は葉のわきに小さな花をつけます。水田の植物なので減少傾向ですが、今年はたくさん見られました。



ジュズダマ
Coix lacryma-jobi
種子植物 > イネ目 > イネ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

学 ジュズダマです。壺状の果実に見えるのものは、葉っぱが変化したもので、雄花と雌花が別々にあるのが分かります。



ギシギシ
Rumex japonicus
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

学 葉っぱの根元が丸いギシギシです。春の初めに出た芽は食べるとちょっと粘りがあって、おいしいですよ。



カラスウリ
Trichosanthes cucumeroides
種子植物 > ウリ目 > ウリ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイオーム」

学 カラスウリです。もう少

し秋が深まると赤く色づき目立ちます。実がなっているの
でこれは雌花。花びらがレー
スのように美しいですが、夜
から早朝に開きますので、早
起きしないと見られません。

み それじゃあ、カヤさんには
キビしいですね。



クヌギ

Quercus acutissima
種子植物 > ブナ目 > ブナ科

学 クヌギのどんぐりができ
ていますね。里山を代表する
樹木で、昔は薪、家具、シイ
タケの原木などに活用されて
いました。樹液にはカブトム
シなどの甲虫が集まります。
クヌギはコナラとよく似てい
ますが、樹皮、葉っぱ、どん
ぐりの様子が違います。違い
がわかると楽しいですよ。



シロダモ

Neolitsea sericea
種子植物 > クスノキ目 > クスノキ科

学 シロダモです。葉っぱの
裏が白いのが分かりますね。

クスノキ科の樹木なので、葉
っぱをちぎるとよい香りがし
ます。



チャノキ

Camellia sinensis
種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科

学 チャノキです。昔の農家
の方は日本茶を自分の家で作
っていました。

み お茶が自宅で作れたなん
て驚きです。

学 そうですね。農家のお庭
には必ずと言ってよいほどチ
ャノキがあったんですよ。



ヤブツバキ

Camellia japonica
種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科



ヤブツバキ

Camellia japonica
種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科

学 ヤブツバキに実がなっ
ていました。中には黒いツヤツ
ヤした種があって、椿油がと
れます。大きな花が 12 月か
ら咲き、メジロ、ヒヨドリが
やってきます。

カ 第1回の冬編では赤い花
が咲いていましたね。

み 実を割って種が見たかつ
たけど、硬くてどうしても割
れませんでした。



種名?

学名?
分類?

学 さてこれは?

み 「オオシロカラカサダケ」
というキノコだと、リーダ
ーが教えてくれました。

カ バイオームのアプリがキ
ノコには対応していないので、
「種名?」になっています。

学 オオシロカラカサダケは、
地球温暖化とともに北上を続
けている亜熱帯性のキノコで
す。ときには大きな菌輪をえ
がいて発生します。

カ 私は白骨が散らばってい
るかと思いギョッとしました。

み いやあ、さすがにそれは
ないでしょう。

学 食べると、吐き気、下痢、
腹痛など、激しい胃腸系の中
毒を起こします。

み こわいですね。

昆虫・クモ

カ 田んぼや草地で、たくさんの虫が見つかりましたね！



エンマコオロギ

Teleogryllus emma
昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科

み 特にこのエンマコオロギは草地にめっちゃいました。
学 長い触角が特徴ですね。



ミツカドコオロギ

Loxoblemmus doenitzii
昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科

学 これもコオロギですが、顔が違います。ミツカドコオロギのようです。



オンブバッタ

Atractomorpha lata
昆虫・クモ>バッタ目>オンブバッタ科

学 オンブバッタですね。

み おんぶをしていなくてもオンブバッタなんですか？

学 オンブバッタはショウリヨウバッタやトノサマバッタと同じように、バッタの種類の一つです。ショウリヨウバッタがおんぶしていても、それはショウリヨウバッタでオンブバッタではありません。

み おんぶしてるバッタのことを言うんじゃないんですね。



ショウリヨウバッタ

Acrida cinerea
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



トノサマバッタ

Locusta migratoria
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



ヒナバッタ

Glyptobothrus maritimus subsp. maritimus
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科

学 バッタの仲間たちです。



ツチイナゴ

Patanga japonica
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



コバネイナゴ

Oxya yezoensis
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科

学 ツチイナゴとコバネイナゴです。

み バッタとイナゴはどう違うのですか？

学 イナゴもバッタの仲間ですが、喉の下を見て、突起があるのがイナゴ、ないのがバッタです。



アオマツムシ

Trujalia hibernis subsp. hibernis
昆虫・クモ>バッタ目>マツムシ科

み へあーれーマツムシが鳴

いている～♪

学 マツムシではなくて、アオマツムシです。鳴き声もマツムシとは違います。



ケラ

Gryllotalpa orientalis
昆虫・クモ>バッタ目>ケラ科

学 ケラですね。オケラと言った方が分かるかな。

み へみんなみんなー 生きているんだ友だちなーんだー、のオケラですか？

学 そのとおり。空も飛べるし、水面の移動もへいちゃら。土も掘れる万能選手です。

カ 名前は有名ですが、初めて見た人が多かったと思います。



シオカラトンボ

Orthetrum albistylum subsp. *speciosum*
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科

学 シオカラトンボです。顔が白くて明るい複眼を持っています。春から初夏に出現します。

カ 田んぼの上を飛んでいるのをたくさん見かけましたね。



アオモンイトトンボ

Ischnura senegalensis
昆虫・クモ>トンボ目>イトトンボ科

学 アオモンイトトンボです。アオモンは「青紋」。先っぽが青いのが見えるでしょうか。

み シオカラトンボとは違ってほっそりしていますね。



アオバハゴロモ

Geisha distinctissima
昆虫・クモ>カメムシ目>アオバハゴロモ科

学 アオバハゴロモです。薄緑色でふちがピンク色です。



シロヘリクチフトカメムシ

Andrallus spinidens
昆虫・クモ>カメムシ目>カメムシ科

学 シロヘリクチフトカメムシ。両脇に白い線があって、鋭くとがった側角（そっかく）を持ちます。



キマダラカメムシ

Erthesina fullo
昆虫・クモ>カメムシ目>カメムシ科

学 まだら模様のキマダラカメムシ。

み かわいいです。



クモヘリカメムシ

Leptocoris chinensis
昆虫・クモ>カメムシ目>ホソヘリカメムシ科

学 イネ科の植物によくつくクモヘリカメムシです。

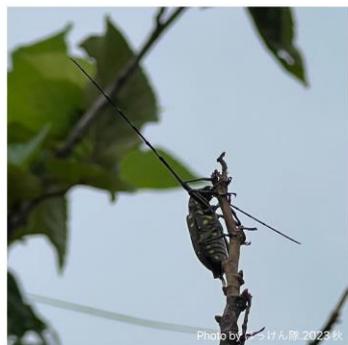
み 同じカメムシでも、こちらはシュツとしていますね。



アブラゼミ

Graptopsaltria nigrofuscata
昆虫・クモ>カメムシ目>セミ科

学 アブラゼミと抜け殻です。
み 右側の成虫は、この抜け殻から出てきたのでしょうか。



キボシカミキリ
Psacothea hilaris subsp. hilaris
 昆虫・クモ>コウチュウ目>カミキリムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 キボシカミキリです。
み ほんとに黄色い星がついています。触角が長いです！



コアオハナムグリ
Gametis jucunda
 昆虫・クモ>コウチュウ目>コガネムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 緑の体のコアオハナムグリです。昔は緑色を「あお」と言いました。
み 緑なのに「青信号」って言いますもんね。よく見ると毛がモフモフしています。



マメハンミョウ
Epicauta gorhami
 昆虫・クモ>コウチュウ目>ツチハンミョウ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 マメハンミョウは「茅ヶ崎市レッドリスト2017」で近い将来絶滅が心配される「絶滅危惧種」とされています。
み そんな貴重な存在とは知りませんでした。
カ 今回はチョウの仲間もいろいろ見つけました。



ウスキクロテンヒメシャク
Scopula ignobilis
 昆虫・クモ>チョウ目>シャクガ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」



ウラジロアツバ
Hypetrocon violacealis
 昆虫・クモ>チョウ目>ヤガ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」



ヒメネジロコヤガ
Maliattha signifera
 昆虫・クモ>チョウ目>ヤガ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」



クロコノマチョウ
Melanitis phedima
 昆虫・クモ>チョウ目>タテハチョウ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」



シロオビノメイガ
Spoladea recurvalis
 昆虫・クモ>チョウ目>ツトガ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」



ベニシジミ
Lycaena phlaeas subsp. daimio
 昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」



カノコガ
Amata fortunei
 昆虫・クモ>チョウ目>トモエガ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

カ こうしてみると、形や模様
様がそれぞれ違って、地味な
がらおもしろいですね。

学 幼虫も見つかりましたね。



クヌギカレハ
Kunugia undans
昆虫・クモ>チョウ目>カレハガ科



ナカグロクチバ
Grammodes geometrica
昆虫・クモ>チョウ目>ヤガ科

み やっぱりイモムシ系はテ
ンションあがりますね！



ヤマトシリアゲ
Panorpa japonica
昆虫・クモ>シリアゲムシ目>シリアゲムシ科

学 ヤマトシリアゲはシリア
ゲムシ科の仲間です。

み シリアゲムシ科なんてあ

るんですね。初めて聞きます。

学 サソリのように尻の先が
上に曲がっているんですよ。



ナガコガネグモ
Argiope bruennichi
昆虫・クモ>クモ目>コガネグモ科

学 ナガコガネグモです。危
険を感じると網をゆすって威
嚇します。

カ 確かに網が盛んに揺れて
いました。あれは風で揺れて
いたのではないのですね。



オスクロハエトリ
Mendoza canestrinii
昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科

学 オスクロハエトリです。
オスは黒色をしています。

み なんとかハエトリという
クモは、これまでもはっけ
ん！しましたね。

カ ハエトリグモはかわいく
て、SNS でも人気みたいです
よ。

両生・爬虫類

カ みんなが大好きなカエル。
今回も姿を見せてくれました。



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類>無尾目>アマガエル科

学 すっかりおなじみのニホ
ンアマガエルですね。鼻腔か
ら眼、鼓膜にかけて黒い筋が
あることで見分けられます。
田植え後の田んぼや水辺に産
卵して、オタマジャクシは水
の中で過ごし、カエルの幼体
になると上陸し、木や草の上
で生活します。



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類>無尾目>アマガエル科

学 吸盤があるのが分かるで
しょうか。これで、木や草の
葉に止まったり、U字溝上の
水路の移動もらくらくです。
今回見つけたのはみんな緑色
でしたが、周囲の環境によっ
て、灰白色にも変化します。
大きさは3~4cmほどで、狭
い緑地でも生息できるので、
都市部でも多く見られます。
雨の前に鳴くことでも知られ
ています。



ヒガシニホントカゲ
Plestiodon finitimus
は虫類 > 有鱗目 > トカゲ科

み しっぽがきれいな青色ですね。

学 ヒガシニホントカゲの幼体です。東日本から北海道まで分布していて、昆虫やミミズなど動物性のものを食べています。外敵から逃げるため、尾を切り離す「トカゲのしっぽ切り」は、トカゲの意思とは関係ない反射運動です。

み 勇気の決断ではなかったんですね。

学 切れた尾は再生されます。体温をあげるために日光浴をしている姿が見られますよ。



ニホンカナヘビ
Takydromus tachydromoides
は虫類 > 有鱗目 > カナヘビ科

学 こちらはニホンカナヘビです。尾が長く全長の3分の2を占めるほどです。背中がガサガサした鱗で覆われています。庭先から山地まで生息

し、草地などでよく見かけます。ヒガシニホントカゲと同じで、こちらも体温をあげるために日光浴をしていますよ。昆虫類をつかまえて食べます。

水生生物

カ 田んぼや水路では水にすむ生きものを観察しました。



ギンブナ
Carassius sp. GINBUNA
魚類 > コイ目 > コイ科



ドジョウ
Misgurnus anguillicaudatus
魚類 > コイ目 > ドジョウ科



アメリカザリガニ
Procambarus clarkii
甲殻類 > 十脚目 > アメリカザリガニ科

学 田んぼでは、魚類のギンブナ、ドジョウが見つかりました。アメリカザリガニは今年の6月に条件付き特定外来生物に指定されました。捕獲した場合はリリース不可で、飼育か駆除となります。

カ 今回は、いつもの湿地が草に覆われていたので、湿地につながる水路を中心に観察しました。



サワガニ
Geothelphusa dehaani
甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科

み 水路ではサワガニが続々と現れましたね。捕まえてもすぐに逃げ出していました。



サカマキガイ
Physa acuta
軟体動物 > Hygrophila > サカマキガイ科

学 サカマキガイは左巻きの巻貝です。多くの貝が右巻きであることから「逆巻き貝」と呼ばれるようになったそうですよ。



ヌマエビ

Paratya compressa

甲殻類 > 十脚目 > ヌマエビ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBioForm」

学 ヌマエビです。透き通ってきれいですね。



幼虫

ミズアブ科

Stratiomyidae

昆虫・クモ > ハエ目

Powered by いきものコレクションアプリ「iBioForm」

学 ミズアブ科の幼虫です。

み なんともコメントしづらい姿です。



幼虫

オニヤンマ

Anotogaster sieboldii

昆虫・クモ > トンボ目 > オニヤンマ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBioForm」

学 オニヤンマのヤゴですね。

み これが大きなオニヤンマになるのですね。

その他

カ 夏編に引き続き、カタツムリの登場です。



コハクオナジマイマイ

Bradybaena pellucida

軟体動物 > マイマイ目 > ナンバンマイマイ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBioForm」

学 1.5cm ほどの小型のカタツムリ、コハクオナジマイマイです。日本固有種で、もとは山口県、四国以西に分布していましたが、1990 年代に千葉県、神奈川県で見つかり分布を広げています。

み 地球温暖化の影響なのでしょうか。

学 そうかもしれませんね。黄色く見えるのは、殻が薄くて内臓が透けてみえるからなんですよ。

み スケルトンなボディですね。しゃれているなー。

カ さて、去年の 12 月から始まった第 8 期里山はっけん隊！も今回で終了ですね。

学 第 1 期から数えると 16 年。1 期に参加した小学 1 年生は、もう 22 歳ですね。みんな、どんな大人になってるかしら？

カ 毎回テーマを設けて活動していますが、今期は原点に戻って田んぼに注目しました。

み 田んぼはお米を作るだけ

の場所じゃなくて、たくさんの生きものの命を育てることが分かりました。

学 大昔の私たちの祖先が、力を合わせて水路を築き、瑞々しい大地が日本中に広がって、田んぼという、命がつながる神秘の仕掛けができたんですね。里山の知恵って素晴らしい！といつも思います。

み 自然と人との歴史ですね。

カ 田んぼのほか、畑の村の湿地も毎回観察しましたね。

学 湿地は 7~8 年前くらいから、子どもたちの水辺の自然観察場所として、私たちが手入れを始めたところで、その頃から里山はっけん隊！の皆さんに、外来種の抜き取りなどの保全活動に参加していただいています。おかげで湿地の環境がよくなって助かっています。

み セイタカアワダチソウの抜き取り、楽しかったです。

学 これからも一緒に保全作業ができればいいですね。

カ 第 8 期の里山はっけん隊！はこれで終了ですが、この活動が、身近な自然に親しんだり、自然を守る活動に参加するきっかけになれば嬉しいです。参加者の皆さん、柳谷の自然に学ぶ会の皆さん、里山公園のスタッフの皆さん、ありがとうございました！！



まとめ
その2

生きものコレクション

マークの写真は、
隊員が選んだ
「みんなに教えたい1枚」ぞよ！



<p>植物</p>	 <p>イネ <i>Oryza sativa</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>	 <p>イネ <i>Oryza sativa</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>	 <p>イネ <i>Oryza sativa</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>	 <p>イネ <i>Oryza sativa</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>
 <p>イネ <i>Oryza sativa</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>	 <p>イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>crus-galli</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>	 <p>エノコログサ <i>Setaria viridis</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科</p>	 <p>オオニシキソウ <i>Euphorbia nutans</i> 種子植物 > キントラン目 > トウダイグサ科</p>	 <p>オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i> 種子植物 > オモダカ目 > オモダカ科</p>
 <p>オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i> 種子植物 > オモダカ目 > オモダカ科</p>	 <p>オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i> 種子植物 > オモダカ目 > オモダカ科</p>	 <p>オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i> 種子植物 > オモダカ目 > オモダカ科</p>	 <p>コナギ <i>Monochoria vaginalis</i> 種子植物 > ツクサ目 > ミズアオイ科</p>	 <p>カントウヨメナ <i>Aster yomena</i> var. <i>dentatus</i> 種子植物 > キク目 > キク科</p>
 <p>カントウヨメナ <i>Aster yomena</i> var. <i>dentatus</i> 種子植物 > キク目 > キク科</p>	 <p>キツネノマゴ <i>Justicia procumbens</i> var. <i>procumbens</i> 種子植物 > シシ目 > キツネノマゴ科</p>	 <p>タカサブロウ <i>Eclipta thermalis</i> 種子植物 > キク目 > キク科</p>	 <p>タカサブロウ <i>Eclipta thermalis</i> 種子植物 > キク目 > キク科</p>	 <p>ツクサ <i>Commelina communis</i> 種子植物 > ツクサ目 > ツクサ科</p>
 <p>ツクサ <i>Commelina communis</i> 種子植物 > ツクサ目 > ツクサ科</p>	 <p>ツクサ <i>Commelina communis</i> 種子植物 > ツクサ目 > ツクサ科</p>	 <p>ツルボ <i>Barnardia japonica</i> 種子植物 > キジカクシ目 > キジカクシ科</p>	 <p>ツルボ <i>Barnardia japonica</i> 種子植物 > キジカクシ目 > キジカクシ科</p>	 <p>ナンバンカラムシ <i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nivea</i> 種子植物 > パラ目 > イラクサ科</p>

				
ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i> 種子植物 > フトモモ目 > ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i> 種子植物 > フトモモ目 > ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i> 種子植物 > フトモモ目 > ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i> 種子植物 > フトモモ目 > ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i> 種子植物 > フトモモ目 > ミソハギ科
				
タマガヤツリ <i>Cyperus difformis</i> 種子植物 > イネ目 > カヤツリガサ科	コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i> 種子植物 > キク目 > キク科	コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i> 種子植物 > キク目 > キク科	コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i> 種子植物 > キク目 > キク科	コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i> 種子植物 > キク目 > キク科
				
チョウジタデ <i>Ludwigia epilobioides</i> subsp. <i>epilobioides</i> 種子植物 > フトモモ目 > アカバナ科	チョウジタデ <i>Ludwigia epilobioides</i> subsp. <i>epilobioides</i> 種子植物 > フトモモ目 > アカバナ科	ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i> 種子植物 > イネ目 > イネ科	ギシギシ <i>Rumex japonicus</i> 種子植物 > ナデシコ目 > タデ科	カラスウリ <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 > ウリ目 > ウリ科
				
カラスウリ <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 > ウリ目 > ウリ科	クヌギ <i>Quercus acutissima</i> 種子植物 > ブナ目 > ブナ科	クヌギ <i>Quercus acutissima</i> 種子植物 > ブナ目 > ブナ科	クヌギ <i>Quercus acutissima</i> 種子植物 > ブナ目 > ブナ科	シロダモ <i>Neolitsea sericea</i> 種子植物 > クスノキ目 > クスノキ科
				
シロダモ <i>Neolitsea sericea</i> 種子植物 > クスノキ目 > クスノキ科	チャノキ <i>Camellia japonica</i> 種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科	ヤブツバキ <i>Camellia japonica</i> 種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科	ヤブツバキ <i>Camellia japonica</i> 種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科	種名？ 学名？ 分類？

					
種名？ 学名？ 分類？	種名？ 学名？ 分類？	種名？ 学名？ 分類？	種名？ 学名？ 分類？	種名？ 学名？ 分類？	
	<h1>昆虫・クモ</h1>				
種名？ 学名？ 分類？			エンマコオロギ <i>Teleogryllus emma</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科	エンマコオロギ <i>Teleogryllus emma</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科	エンマコオロギ <i>Teleogryllus emma</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科
					
エンマコオロギ <i>Teleogryllus emma</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科	エンマコオロギ <i>Teleogryllus emma</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科	エンマコオロギ <i>Teleogryllus emma</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科	ミツカドコオロギ <i>Loxoblemmus doenitzii</i> 昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科	オンブバッタ <i>Atractomorpha lata</i> 昆虫・クモ>バッタ目>オンブバッタ科	
					
オンブバッタ <i>Atractomorpha lata</i> 昆虫・クモ>バッタ目>オンブバッタ科	オンブバッタ <i>Atractomorpha lata</i> 昆虫・クモ>バッタ目>オンブバッタ科	ショウリヨウバッタ <i>Acrida cinerea</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	ショウリヨウバッタ <i>Acrida cinerea</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	ショウリヨウバッタ <i>Acrida cinerea</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	
					
トノサマバッタ <i>Locusta migratoria</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	トノサマバッタ <i>Locusta migratoria</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	ヒナバッタ <i>Oxyptobothrus maritimus subsp. maritimus</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	ヒナバッタ <i>Oxyptobothrus maritimus subsp. maritimus</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	ツチイナゴ <i>Ptilianga japonica</i> 昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科	



ツチイナゴ
Patanga japonica
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



ツチイナゴ
Patanga japonica
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



ツチイナゴ
Patanga japonica
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



コバネイナゴ
Oxya yezoensis
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



コバネイナゴ
Oxya yezoensis
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



コバネイナゴ
Oxya yezoensis
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



コバネイナゴ
Oxya yezoensis
昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科



アオマツシ
Trujalia hibinonis subsp. hibinonis
昆虫・クモ>バッタ目>マツムシ科



アオマツシ
Trujalia hibinonis subsp. hibinonis
昆虫・クモ>バッタ目>マツムシ科



ケラ
Gryllotalpa orientalis
昆虫・クモ>バッタ目>ケラ科



ケラ
Gryllotalpa orientalis
昆虫・クモ>バッタ目>ケラ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



シオカラトンボ
Orthetrum albistylum subsp. speciosum
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科



アオモンイトンボ
Ischnura senegalensis
昆虫・クモ>トンボ目>イトトンボ科



アオバハゴロモ
Geisha distinctissima
昆虫・クモ>カメムシ目>アオバハゴロモ科



シロヘキチブトカメムシ
Antraxillus spandens
昆虫・クモ>カメムシ目>カメムシ科



シロヘキチブトカメムシ
Antraxillus spandens
昆虫・クモ>カメムシ目>カメムシ科



キマダラカメムシ
Ertethisma fulvo
昆虫・クモ>カメムシ目>カメムシ科



クモヘリカメムシ
Leptocoris chinensis
昆虫・クモ>カメムシ目>ホソヘリカメムシ科



クモヘリカメムシ
Leptocoris chinensis
昆虫・クモ>カメムシ目>ホソヘリカメムシ科

 <p>アブラゼミ <i>Graptopsaltria nigrofuscata</i> 昆虫・クモ>カメムシ目>ゼミ科</p>	 <p>アブラゼミ <i>Graptopsaltria nigrofuscata</i> 昆虫・クモ>カメムシ目>ゼミ科</p>	 <p>キボシカミキリ <i>Pisacotha hilaris subsp. hilaris</i> 昆虫・クモ>コウチュウ目>カミキリムシ科</p>	 <p>キボシカミキリ <i>Pisacotha hilaris subsp. hilaris</i> 昆虫・クモ>コウチュウ目>カミキリムシ科</p>	 <p>キボシカミキリ <i>Pisacotha hilaris subsp. hilaris</i> 昆虫・クモ>コウチュウ目>カミキリムシ科</p>
 <p>コアオハナムグリ <i>Gemea jucunda</i> 昆虫・クモ>コウチュウ目>コガネムシ科</p>	 <p>マメハンミョウ <i>Epicauta gorhami</i> 昆虫・クモ>コウチュウ目>ツチハンミョウ科</p>	 <p>ウスキクロテンヒメジャク <i>Scopula ignobilis</i> 昆虫・クモ>チョウ目>ジャクガ科</p>	 <p>ウラジロアツバ <i>Hypetrocon violacealis</i> 昆虫・クモ>チョウ目>ヤガ科</p>	 <p>ヒメネジロコヤガ <i>Malattha signifera</i> 昆虫・クモ>チョウ目>ヤガ科</p>
 <p>クロノマチョウ <i>Melanitis phedima</i> 昆虫・クモ>チョウ目>タテハチョウ科</p>	 <p>ベニシジミ <i>Lycæna phlaeas subsp. daimio</i> 昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科</p>	 <p>カノコガ <i>Amata fortunei</i> 昆虫・クモ>チョウ目>トモエガ科</p>	 <p>クヌギカレハ <i>Kunugia undans</i> 昆虫・クモ>チョウ目>カレハガ科</p>	 <p>クヌギカレハ <i>Kunugia undans</i> 昆虫・クモ>チョウ目>カレハガ科</p>
 <p>ナガゴクチバ <i>Grammodes geometrica</i> 昆虫・クモ>チョウ目>ヤガ科</p>	 <p>ヤマトシリアゲ <i>Panorpa japonica</i> 昆虫・クモ>シリアゲムシ目>シリアゲムシ科</p>	 <p>ナガコガネグモ <i>Argiope bruennichi</i> 昆虫・クモ>クモ目>コガネグモ科</p>	 <p>ナガコガネグモ <i>Argiope bruennichi</i> 昆虫・クモ>クモ目>コガネグモ科</p>	 <p>ナガコガネグモ <i>Argiope bruennichi</i> 昆虫・クモ>クモ目>コガネグモ科</p>
 <p>ナガコガネグモ <i>Argiope bruennichi</i> 昆虫・クモ>クモ目>コガネグモ科</p>	 <p>オスクロハエトリ <i>Mitsudaia canestrinii</i> 昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科</p>	 <p>バッタ科 Acrisidae 昆虫・クモ>バッタ目</p>	 <p>バッタ科 Acrisidae 昆虫・クモ>バッタ目</p>	 <p>種名？ 学名？ 分類？</p>

両生類 爬虫類



種名？
学名？
分類？



種名？
学名？
分類？



種名？
学名？
分類？



種名？
学名？
分類？



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ヒガシニホントカゲ
Plestiodon finitimus
は虫類 > 有鱗目 > トカゲ科



ヒガシニホントカゲ
Plestiodon finitimus
は虫類 > 有鱗目 > トカゲ科



ニホンカナヘビ
Takydromus tachyromoides
は虫類 > 有鱗目 > カナヘビ科



種名？
学名？
分類？

水生生物



ギンブナ
Carassius sp. GINBUNA
魚類 > コイ目 > コイ科



ギンブナ
Carassius sp. GINBUNA
魚類 > コイ目 > コイ科



キンブナ
Carassius buergeri subsp. 2
魚類 > コイ目 > コイ科



ドジョウ
Misgurnus anguillicaudatus
魚類 > コイ目 > ドジョウ科



ドジョウ
Misgurnus anguillicaudatus
魚類 > コイ目 > ドジョウ科



アメリカザリガニ
Procambarus clarkii
甲殻類 > 十脚目 > アメリカザリガニ科



アメリカザリガニ
Procambarus clarkii
甲殻類 > 十脚目 > アメリカザリガニ科



サワガニ
Geothelphusa dehaani
甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科



サワガニ
Geothelphusa dehaani
甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科

<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>
<p>サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科</p>	<p>サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科</p>	<p>サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科</p>	<p>サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科</p>	<p>サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科</p>
<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>
<p>サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科</p>	<p>サカマキガイ <i>Physa acuta</i> 軟体動物 > Hygrophila > サカマキガイ科</p>	<p>サカマキガイ <i>Physa acuta</i> 軟体動物 > Hygrophila > サカマキガイ科</p>	<p>サカマキガイ <i>Physa acuta</i> 軟体動物 > Hygrophila > サカマキガイ科</p>	<p>ヌマエビ <i>Paratya compressa</i> 甲殻類 > 十脚目 > ヌマエビ科</p>
<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>その他</p>	
<p>ミズアブ科 <i>Stratiomyidae</i> 昆虫・クモ > ハエ目</p>	<p>オニヤンマ <i>Anotagaster sieboldii</i> 昆虫・クモ > トンボ目 > オニヤンマ科</p>	<p>種名？ 学名？ 分類？</p>	<p>コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナンパンマイマイ科</p>	
<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>	<p>Photo by 山っけん隊 2023 秋</p>		
<p>コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナンパンマイマイ科</p>	<p>コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナンパンマイマイ科</p>	<p>種名？ 学名？ 分類？</p>		

まとめ
その3

生きものマップ

里山はっけん隊！の主な活動場所である「畑の村湿地」とその周辺で見つけた主な生きものです。（令和5年9月9日）

草地

 クヌギ Castanopsis coccinea 種子植物・ナツシロ・アザミ科	 キツネノマゴ Lycopus lucidus 種子植物・シロネ・キツネノマゴ科	 オオニシキソウ Siphocampylus japonicus 種子植物・キク科・クマノヒゲ科	 ツルボ Lonicera japonica 種子植物・キク科・クマノヒゲ科	 エンマコオロギ Eumecurus japonicus 昆虫・クマノヒゲ科・コオロギ科	 ミツカドコオロギ Eumecurus japonicus 昆虫・クマノヒゲ科・コオロギ科
 ヒメネジロコヤガ Mamejirochrysa 昆虫・クマノヒゲ科・コヤガ科	 クロノマチョウ Chromobothris japonica 昆虫・クマノヒゲ科・チョウ科	 ベニシジミ Lycophotia japonica 昆虫・クマノヒゲ科・チョウ科	 ウラジロアツバ Urajiroasuba 昆虫・クマノヒゲ科・アツバ科	 ウスキクロテンヒメシャク Utsukichirotenhimeshaku 昆虫・クマノヒゲ科・アツバ科	 シロオビノメイガ Shiroobinomeyiga 昆虫・クマノヒゲ科・アツバ科
 ヒナバッタ Oryzias latipes 昆虫・クマノヒゲ科・バッタ科	 ショウリウヨバッタ Shouryuyobatta 昆虫・クマノヒゲ科・バッタ科	 コバネイナゴ Cobanainago 昆虫・クマノヒゲ科・バッタ科	 キマダラカメムシ Kimagadarakamemushi 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科	 アオマツムシ Aomatumushi 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科	 アオハハゴロモ Aohahagomomo 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科
 コアオナムグリ Coaonamuguri 昆虫・クマノヒゲ科・ナムグリ科	 クヌギカレハ Kunugikareha 昆虫・クマノヒゲ科・カレハ科	 オスクロハエトリ Oskurohaetori 昆虫・クマノヒゲ科・ハエトリ科	 ヒガシニホトカゲ Higashinibotokage 両生類・ヒガシニホトカゲ科	 ニホンカナヘビ Nihonkanahibi 両生類・ヒガシニホトカゲ科	 コハクオナジマイマイ Kohakuonajimaimai 軟体動物・マイマイ科・オナジマイマイ科

畑の村湿地と
その周辺

斜面・水路

腰掛神社

← 里の家

園路沿い・田んぼ

セイタカアワダチソウの抜き取り

保全活動体験

湿地

 コスモス Cosmos bipinnata 種子植物・キク科・コスモス科	 ギシギシ Gishigishi 種子植物・ナツシロ・アザミ科	 イネ Oryza sativa 種子植物・イネ科・イネ科	 エノコログサ Enokogokusa 種子植物・イネ科・イネ科	 ホソバヒメミソハギ Hosobahimemiso-hagi 種子植物・フトモモ科・ミソハギ科	 オモダカ Omodaka 種子植物・フトモモ科・オモダカ科	 タカサブロウ Takasabrou 種子植物・イネ科・イネ科	 コナギ Konagi 種子植物・フタコ科・コナギ科	 タマガヤツリ Tamagayatsuri 種子植物・イネ科・イネ科	 ツユクサ Tsu-yuku-sa 種子植物・クマノヒゲ科・ツユクサ科
 ナンバンカラムシ Nanban-karumushi 昆虫・クマノヒゲ科・カラムシ科	 キノコ キノコ 菌類・キノコ科	 アオモンイトトンボ Aomono-itotombo 昆虫・クマノヒゲ科・イトトンボ科	 シオカラトンボ Shiokaratonbo 昆虫・クマノヒゲ科・イトトンボ科	 オンブバッタ Onbubatta 昆虫・クマノヒゲ科・オンブバッタ科	 トノサマバッタ Tonosamabatta 昆虫・クマノヒゲ科・オンブバッタ科	 エンマコオロギ Eumecurus japonicus 昆虫・クマノヒゲ科・コオロギ科	 マメハンミョウ Mamehanmyou 昆虫・クマノヒゲ科・ハンミョウ科	 アブラゼミ Aburazemi 昆虫・クマノヒゲ科・ゼミ科	 ヤマトシリアゲ Yamatoshiriage 昆虫・クマノヒゲ科・シリアゲ科
 シロヘリクチブトカメムシ Shiroherikuchibutokamemushi 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科	 カノコガ Kanakoga 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科	 ナカグロクチバ Nakagurokuchiba 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科	 ナガコガネグモ Nagakoganegumo 昆虫・クマノヒゲ科・カメムシ科	 ニホンアマガエル Nihonamagaeru 両生類・ヒガシニホトカゲ科	 アメリカザリガニ Amerikazarigani 節足動物・十脚綱・ザリガニ科	 ヌマエビ Numaebi 節足動物・十脚綱・ヌマエビ科	 ミズアブ科 Mizuabukou 昆虫・クマノヒゲ科	 ギンナ Ginna 魚類・コイ科	 ドジョウ Djojou 魚類・コイ科

里山はっけん隊！「まとめノート」令和5年度 秋
編集：茅ヶ崎市環境部環境政策課
協力：柳谷の自然に学ぶ会
令和5年11月作成